

長野県ハーネスの会について

長野県内では、現在 20 頭の盲導犬が視覚障害者のパートナーとして働いています。

盲導犬を使い始める際には、公的な補助がありますが、その後の医療費については公的な補助はありません。

また、飲食店の入店拒否・アパートやマンションの入居拒否・道路交通法を守らないドライバー・無人駅の利用・引退盲導犬のケアなど、様々な問題があります。これらの問題解決のため、長野県ハーネスの会は活動しています。本会の活動をご理解いただき、盲導犬をめぐる諸問題を共に考えていただける皆様のご協力をお願い致します。

【ご協力のかたち】

- ❖ご入会 年会費 2 千円
- ❖募金箱の設置
- ❖ご寄付

◆◆◆

会長 広沢 里枝子

〒380-0043 長野市吉田 3-16-13

(株) Jハート内

Tel 026-214-0802 (8:00~17:00)

e-mail : info@harness-nagano.com

【ゆうちょ銀行】

00570-7-17991 長野県ハーネスの会

【八十二銀行 惣社店】

普通 210042 長野県ハーネスの会



「身体障害者補助犬法」

身体障害者補助犬とは

目の不自由な人の歩行を助ける盲導犬

肢体不自由の人の生活動作を助ける介助犬

耳の不自由な人に音の情報を伝える聴導犬の総称です。



2002 年身体障害者補助犬法施行

補助犬は身体障害者の生活の中で、様々なサポートをする役割を持っていますが、「犬が苦手な人もいるから」「食べ物を扱っているから入らないで」などの理由から、店や宿泊施設、交通機関などで補助犬の受入を拒否されることがありました。そこで 2002 年 10 月補助犬使用者が補助犬と共に、多くの施設や交通機関の円滑な利用を目的として「身体障害者補助犬法」が施行されました。

この法律により、公共施設、公共交通機関、飲食店・病院・ホテルなど不特定多数の人が利用する民間施設で、補助犬の受け入れが義務化されています。

長野県ハーネスの会



「ハーネスの会」は盲導犬ユーザーとその支援者の会です。

URL: www.harness-nagano.com/

盲導犬の仕事

盲導犬の仕事を大きく分けると

- ◆ 道の左端（時により右）に沿って歩く。
 - ◆ 障害物を避けて歩く。
 - ◆ 段差や交差点で止まって知らせる。
 - ◆ ドアやエスカレーター、改札などの目標物を探す。
- …などです。



盲導犬はナビ？

盲導犬に「郵便局まで行って」「駅まで連れて行って」といえば、ナビのように誘導して目的地に連れて行ってくれるわけではありません。ユーザーは頭の中にある地図によって、盲導犬に指示を出します。

盲導犬ではなく、ユーザーに

もし、ユーザーが道に迷っていたり、困っているようなら「何かお手伝いしましょうか？」と、ユーザーに声をかけてください。また「今、信号は赤ですよ」「〇〇行きのバスですよ」などと声をかけていただくととても助かります。

盲導犬は大切なパートナー

ユーザーは盲導犬のシャンプー・ブラッシングから健康管理まで盲導犬の生活の全てに責任をもち、愛情をもって接します。だからこそ盲導犬もユーザーを信頼し、仕事も喜んでするので。盲導犬は家族の一員です。

盲導犬に出会ったら

あたたかい無視を

ハーネスをつけた盲導犬はユーザーが安全に歩行できるよう仕事に集中しています。声をかけたり、触ったり、口笛で呼んだりせずに、そっと見守って下さい。



これはNG！

盲導犬は決まった時間にユーザーが決まった食事を与えます。それがくずれると、おなかの調子がおかしくなりかねません。水や食べ物はやらないで下さい。それと、**無断で写真や動画は撮らないで下さい。**

怖がらないで

盲導犬は吠えたり、かんだり、人に危害を加えることはありません。犬が嫌いな人も怖がらないで静かに見守って下さい。

ペットと散歩中だったら

さりげなくサッと通り過ぎていただくと有難いです。また挨拶はユーザーにして下さい。

盲導犬ユーザーを誘導するときは

腕や手をつかんで引っ張ったりせず、あなたの肘や肩を貸して下さい。方向は右・左など具体的に。盲導犬のハーネスにはさわらないで下さい。もし、駅のホームや工事現場などで「**危険！**」な時は、「**盲導犬の人、止まって！**」と、先ず制止して下さい。

盲導犬の一生

「誕生」

「ブリーディングウォーカー」と呼ばれるボランティアのお家で生まれます。親犬と一緒に生活するのは約2ヶ月間です。



パピーウォーカーと

パピーウォーカー（子犬育成ボランティア）のお家にあずけられ、普通の家庭犬と同じように愛情たっぷりに育てられます。



訓練センターへ

「音や匂いに過敏に反応しないか」「従順でおとなしい性格か」など、盲導犬としての適性があると判断された子犬は、その後4～6ヶ月間「仕事に集中する」「人の指示にしたがう」といった基本から「段差で止まる」「障害物を避ける」など専門的動作の訓練を受けます。

パートナーとの共同訓練・現役で活躍

盲導犬を希望する人と、4週間センターで一緒に生活して、共同訓練を行います。その後、約10歳になるまで、盲導犬ユーザーのパートナーとして活躍します。



引退

年を取ると、だんだんと運動能力が落ち、盲導犬として活躍できなくなります。パートナーとお別れして、リタイアウォーカー（引退犬の世話するボランティア）のお家でのんびり余生を過ごします。